

授業科目	身体障害作業療法学	3 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		作業	必修

科目担当責任者	中村眞理子 (保健医療学研究棟 E511 号) e-mail : mnaka@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	中村充雄、(小渡 充)、(後藤葉子)		
概要	身体障害領域の作業療法の対象となる疾患と臨床像を理解し、身体障害に対する作業療法の治療理論、介入方法の基礎的知識を学習する。整形外科系疾患、中枢神経系疾患、神経・筋疾患、内科系疾患の身体障害に対する作業療法の代表的疾患について医学的知識と機能障害を理解し、治療に必要な基礎知識を習得する。さらに障害像、作業療法の評価の流れ、各疾患・障害に必要な評価法と評価のまとめ方を学習する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体障害作業療法治療の対象疾患・障害を列挙できる。 2. 身体障害に対する評価の流れを説明できる。 3. 身体障害に用いる作業療法評価法を列挙し、それを実施できる知識を述べることができる。 4. 各疾患に必要な評価を列挙し、それを実施できる手法を説明できる。 5. 身体障害作業療法治療の治療構造について説明できる。 		
関連科目	作業療法評価学 1、作業療法評価学 2、日常生活適応学、基礎作業学 1、基礎作業学 2		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考 提出物は、提出状況および内容の目標到達状況により評価する。学習態度は、質問や発言の状況など授業参加に対する積極性により評価する。筆記試験は、期末試験および小テストにより評価する。
	筆記試験	70%	
	提出物	20%	
	学習態度	10%	
教科書	①社団法人日本作業療法協会編 [2009 年] 「作業療法学全書(改訂第 3 版) 作業治療学 1 身体障害」 協同医書出版社		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	すでに履修済みの関連する科目を復習して講義に望むこと。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	本科目の目的・目標、学習内容・方法、履修上の留意事項	事前：関連する専門基礎科目の復習をしておく 事後：配付資料を読む	講義	中村
2	身体障害の定義・身体障害の作業療法の役割・対象疾患	事前：教科書の該当部分を読んでくる 事後：配付資料を読む	〃	〃
3	評価・治療の流れ・疾患・障害別評価 評価の実際	事前：評価学の復習をしておく 事後：対象疾患と評価の項目を確認する	〃	〃
4	症状の概要・評価	事前：配付資料を読んでおく 事後：教科書の該当部分を読む	〃	〃
5	作業治療学・治療アプローチ・治療の概要と原則	事前：教科書の該当部分を読む 事後：配付資料と教科書を併せて読む	〃	〃
6	日常生活活動	事前：対象疾患の障害を確認しておく 事後：配布資料を読む	講義・演習	〃
7	高次脳機能障害の概要	事前：履修済みの関連科目の復習 事後：教科書の該当箇所を読む	〃	〃
8	評価のまとめ方・記録・報告	事前：配布資料を読む 事後：配付資料を読む	〃	〃

9	切断・義手 末梢神経損傷	事前：演習準備 事後：義手のチェックアウトの記録	〃	中村(充)
10	症状の概要と治療原則 脳血管障害	事前：教科書の該当部分を読む 事後：配付資料を読む	講義	中村
11	症状の概要と治療原則 神経筋疾患・その他の疾患	事前：教科書の該当部分を読む 事後：配付資料を読む	〃	〃
12	症状の概要と治療原則 脊髄損傷	事前：教科書の該当部分を読む 事後：配付資料を読む	〃	(小渡)・ 中村
13	症状の概要と治療原則 脊髄損傷のADL	事前：教科書の該当部分を読む 事後：配付資料を読む	〃	〃
14	症状の概要と治療原則 内部障害	事前：教科書の該当部分を読む 事後：配付資料を読む	〃	(後藤)・ 中村
15	スプリント他	事前：演習準備 事後：スプリントのチェックアウトの 記録	講義・演習	中村